



西東京市立栄小学校

令和8年1月8日(木)  
西東京市栄町 2-10-9  
TEL 042(423)0276

## 新年を迎えて

校長 佐藤 千晴

明けましておめでとうございます。穏やかな陽ざしに包まれ、令和8年が明けました。本年もどうぞよろしくお願いたします。

保護者・地域の皆様には、日頃より、本校の教育活動へのご支援・ご協力を賜るとともに通学路・学区内のパトロール・見守りを行っていただき、本当にありがとうございます。地域の安心・安全があって、学校は教育活動に力を注ぐことができます。これまでこの栄小の地域で築かれ、受け継がれてきた「子供たちを育てる地域の力」をこれからもいただけますよう心よりお願い申し上げます。

今日から3学期の始まりです。1時間目に行った始業式では、子供たちと共に新年のあいさつを交わし、新学期のスタートを切ることができました。子供たちの元気なあいさつの声、友達と交わす笑顔、目を輝かせる姿は、学校の活気につながります。3学期も子供たちが元気に学校生活を送り、それぞれが自分の力を発揮できるよう努めてまいりたいと思います。

新年と言えば『箱根駅伝』。今年も出場校の学生の皆さんが素晴らしい激走を見せてくれました。2日間に渡る往路復路の戦いではありますが、選手、そして選手を支える方々にとっては長い長い1年間の戦いでした。ゴールテープを切ったその瞬間は、苦しい練習やけが、伝統校の重圧等、当事者にしか分からない計り知れない多くの思いが込められていたことと思います。そして、そのゴールを切った瞬間から来年に向けての戦いが始まっているとのことです。そんな背景があるからこそ、テレビ中継を通して感動が伝わってきます。走り終えて倒れこむ選手、襷をつないで深々とお辞儀をする選手、沿道に待機し走者への給水で思いを託す選手。襷をつなぐ駅伝競走だからこそ生まれる感動があります。今年も、この箱根駅伝を観て、あたたかな感動と共に、「さあ、私も頑張ろう！」との勇気が沸き上がってきました。何事にも一生懸命取り組む人は、輝いています。人を感動させる力があります。自分を高める力があります。栄小の子供たちもそんな「輝き」や「力」を大切にしてほしいと心から願っています。

3学期は次の学年の準備の学期となります。教室では、「もうすぐ〇年生」「3学期は〇年生のゼロ学期」との話が担任から子供たちに伝えられているところもありました。新年、新学期を迎え、新たな目標を立て、歩み出しました。子供たちの学びに向かう力を伸ばし、「笑顔と活気のあふれる栄小」を進めてまいります。そして、職員室でも新しい年度に向けての準備が始まっています。今年度のまとめをしながら、次年度に向けてさらによりよい学校を目指してまいります。今後ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます

### 生活指導

## 1月の生活目標:「気持ちよいあいさつをしよう」

新しい年を迎え、気持ちを新たに過ごしている人もたくさんいると思います。年が明けて初めて会う方には「明けましておめでとうございます」とごあいさつができるとうれしいですね。

「おはようございます、こんにちは、さようなら」なども自分から積極的にできるように心がけができるように指導していきます。